

平成24年行政事業レビューシート (復興庁、文部科学省)

事業名	東北メディカル・メガバンク		担当部局庁	復興庁統括官付参事官(予算会計担当)		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成32年度		担当課室	文部科学省研究振興局ライフサイエンス課		復興庁統括官付参事官(予算会計担当) 尾関良夫 ライフサイエンス課長 板倉康洋	
会計区分	一般会計・東日本大震災復興特別会計		施策名	X-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月東日本大震災復興対策本部)、日本再生の基本戦略(平成23年12月閣議決定)、医療イノベーション5か年戦略(平成24年6月医療イノベーション会議)、第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災の被災地の住民を対象として健康調査を実施し、医療情報ネットワークと連携しつつ、大規模なバイオバンクを構築。また、健康調査を通じて被災地の住民の健康管理に貢献するとともに、バイオバンクを用いた解析研究を実施することにより、個別化医療等の基盤を形成し、将来的には、東北発の次世代医療(病気の正確な診断や薬の副作用の低減、将来なりやすい病気の予測など)の実現を目指す。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	東日本大震災の被災地に医療関係人材を派遣して健康調査を実施(一定期間、地域医療に従事)し、15万人規模の生体試料、健康情報等が収集されたバイオバンクを構築することで、次世代医療の実現のための基盤を形成する。生体試料からゲノム情報等を解読した上で、我が国の他の研究機関、バイオバンクと連携しながら、得られたゲノム情報、健康情報、診療情報等を併せて解析し、環境要因、遺伝子等と疾患の関連を明らかにする研究を実施する。 (補助率:100%) ※平成24年度以降は、復興庁で一括計上し、文部科学省で執行する事業である。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	-	-	15,768(文部科学省計上)	-	-
		繰越し等	-	-	▲15,708	15,708(一般会計)	-
		計	-	-	60	21,315	5,607
	執行額	-	-	59	-	-	
	執行率(%)	-	-	98.3%	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果目標	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	成果実績	-	-	-	-		
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	東北地区における健常人コホートの協力者の数	活動実績(当初見込み)	人	-	-	-	-
単位当たりコスト	参考	59(百万円/機関)	算出根拠	平成24年度の秋頃からリクルートを開始する予定のため、現時点では算出が困難。 参考:59(百万円/機関) =(平成23年度執行額:59百万円)/(実施機関数:1)			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	科学技術試験委託費	25.2百万円	11.5百万円	会議開催予定の見直しによる減及びそれに伴う人件費の減			
	次世代医療研究開発拠点形成事業費補助金	5,575.2百万円	5,588.7百万円	事業の進捗に伴う業務実施費及び人件費の増			
	科学技術振興謝金	1.2百万円	1.2百万円	-			
	科学技術振興職員旅費	1.1百万円	1.8百万円	事業の本格的な開始による進捗管理のため			
	科学技術振興委員等旅費	2.9百万円	2.9百万円	-			
	科学技術振興庁費	0.9百万円	0.4百万円	事業の進捗に伴う、会議開催に係る消耗品費の見直しによる減			
計	5,607百万円	5,607百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・東日本大震災の被災地の復興に国が取り組むべき施策として、「東日本大震災からの復興の基本方針」、「日本再生戦略」等に位置づけられている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・「東日本大震災からの復興の基本方針」、「日本再生戦略」等において、東北大学を中心として実施すべき、と位置づけられており、そのような方針に従って実施体制を構築しているところ。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・被災地の医療復興と将来的な東北発の次世代医療の開発のためには本事業の実施が必須であることが上記のような政府文書によって定められており、さらに先行して実施されているコホートの知見を活用するために、文部科学省に「東北メディカル・メガバンク計画検討会」を設置して提言をまとめるとともに、実施機関にもそれらの関係者が参画するWGを設置。さらに、収集される生体試料、解析して得られたデータも我が国の研究機関に提供できる体制を構築する予定。 ・「オーダーメイド医療の実現化プロジェクト」は疾患コホート研究であり、上記検討会提言や「医療イノベーション5か年戦略」(平成24年6月 医療イノベーション会議)等における指摘を踏まえ、本事業との具体的な連携の在り方について検討を進めている。また、他の疾患コホートや健康人コホートとの連携についても、上記WGにおいて、具体的な検討をすることとしている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 文科省 オーダーメイド医療の実現化プロジェクト	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	上記のような各種政府文書に定められた方針に沿って、被災地の復興と東北発の次世代医療を実現すべく、他の先行して実施されているコホート等の知見を有効に活用しながら、適切に実施されていると評価できる。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、東日本大震災の被災地に医療関係人材を派遣して健康調査を実施し、15万人規模の生体試料、健康情報等が収集されたバイオバンクを構築することで、次世代医療の実現のための基盤を形成するものであり、契約・執行手続きの観点から検証を行った。</p> <p>2. 本事業は、平成23年度第3次補正予算により開始された事業であり、予算の大半を平成24年度に繰越しているが、当該予算が東日本大震災からの復旧・復興のための経費であることを鑑み、引き続き早期執行に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	平成24年7月に、文部科学省に「推進本部」を設置し、実施機関である東北大学及び岩手医科大学における事業の進捗管理を行う体制を整え、当該予算の早期執行に努めている。また、平成25年度からの本格的な健康調査の開始に向け、東北大学に設置される課題別のワーキンググループにおいて、「東北メディカル・メガバンク計画検討会 提言」(平成24年6月 東北メディカル・メガバンク計画検討会)で指摘された事項を踏まえた、コホート調査や解析研究等の具体的な実施計画を平成24年度中に確定する。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>参考URL</p> <p>・東北メディカル・メガバンク機構HP: http://www.megabank.tohoku.ac.jp/</p> <p>・東北メディカル・メガバンク計画検討会 提言(平成24年6月7日 東北メディカル・メガバンク計画検討会): http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shinkou/026/gaiyou/1321811.htm</p> <p>・医療イノベーション5か年戦略(平成24年6月6日 医療イノベーション会議): p44-46: http://www.kantei.go.jp/jp/singi/iryuu/5senryaku/siryuu01.pdf</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	復興-0033

文部科学省

59百万円

東日本大震災の被災地の住民を対象として健康調査を実施し、医療情報ネットワークと連携しつつ、大規模なバイオバンクを構築。また、健康調査を通じて被災地の住民の健康管理に貢献するとともに、バイオバンクを用いた解析研究を実施することにより、個別化医療等の基盤を形成し、将来的には、東北発の次世代医療の実現を目指す。

[補助]

A. 次世代医療研究開発拠点形成事業費
補助金
:35百万円
国立大学法人東北大学

[補助]

B. 次世代医療研究開発拠点形成施設整備費
補助金
:25百万円
国立大学法人東北大学

※四捨五入により合計値があわない

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 費目と用途の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 国立大学法人東北大学			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	事業担当職員、補助者	12			
設備備品費	ゲル電気泳動システム、密閉式超音波破碎装置等	10			
消耗品費	設置した設備に係る消耗品等	9			
その他	その他運営経費(旅費等)	4			
計		35	計		0
B. 国立大学法人東北大学			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
付帯事務費	実施設計費	25			
計		25	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東北大学	東北メディカル・メガバンク計画の実施	35	-	-

※補助事業

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東北大学	東北メディカル・メガバンクセンター施設整備の実施	25	-	-

※補助事業